

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 2日		～ 令和 7年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 2日		～ 令和 7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児に寄り添った関わりを通して、利用することを楽しみにしている。	・季節に合わせた行事や製作活動を行う中で、一人ひとりに合わせた姿勢や援助に配慮しながら、個々の力を引き出せるよう工夫している。 ・天気の良い日は体調に合わせて、戸外散歩を実施している。	・利用児の要望を聞き入れて、利用児が意欲的に参加できるような活動を設定していく。
2	・医師や看護師がいるため、安心して利用できる。利用中に体調が変化した場合にもすぐに対応することができる。	・利用児、保護者が共に安心して利用できるように、利用前に、医師、看護師、保育士でカンファレンスし、児の状況を把握し、アセスメントしている。	・利用中の様子や日々の状況を医師、看護師、保育士等で連携し情報共有していく。
3	・理学療法士による姿勢管理やポジショニング等を行い、利用児一人ひとりにあった支援を行っている。	・理学療法士が利用児の体調や様子を見ながら、その子にあった支援を行っている。	・引き続き、理学療法士と連携し、姿勢管理やポジショニング等を行い、利用児のニーズに合わせて支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・曜日で登所する児が決まっているため、別日に利用したい時や、新しく利用したい児の受け入れが難しいことがある。	・1日の定員や職員の勤務状況によって、受け入れが難しいことがある。	・欠席がある時は他の児に声をかけ、希望者が利用できるよう調整していく。また、利用している児が皆平等に利用できるような取り組みしていく。
2	・放課後等デイサービスの部屋が狭く感じる。	・車椅子や腹臥位器を置くことによって狭く感じる。	・呼吸器等、各自に必要な機器を置くことで狭くなることもあるが、スペースを確保できるよう物の配置を工夫したり、動線を考慮して過ごしやすいよう環境設定していく。 ・こども達の状況や活動に合わせて、多目的ホールや別室を利用していく。
3			